



**Q** おまるに誘っても座るのを嫌がります。どうしたらいいでしょう。(2歳児)

**A**

したくないというときに誘っているのではないのでしょうか？  
お昼寝から起きた時や戸外にでる前など生活の節目に誘ってみるのがいいと思います。  
親の方に「しつけ」とか「トイレトレーニング」という気持ちが強いのかもかもしれません。  
それをいったん転換してみるのも一つの方法です。  
まったく放りっぱなしにするのではなく、子どもが自分で出来るようになるのを  
「お手伝い」するくらいに考えてみるといいでしょう。

「お手伝い」だと叱ったり、おこったりする立場ではないですからね。  
身体の機能ができあがってくればオムツは自然にはずれるものです。  
親はしつけるのではなくお手伝いするという発想の転換を試みましょう。

**Q** 欲しいものがあると泣きわめきます。我慢をどうやって教えたらいいでしょう？(2歳児)

**A**

「我慢」とは自分の欲求や感情をコントロールできるようになることです。  
欲求や感情が湧きあがってくるのを抑えつけるのではなく、欲求や感情が湧きあがってきたこと、  
それ自体は認めそれを自分なりに処理する力です。  
「欲しい」と感じて泣いたとしてもしばらくして「今日はだめだったなあ」とか、「この間買ってもらったから今日はやめよう」などと自分なりに気持ちをおさめる事ができる、そうした力です。  
もちろん子ども一人ではなかなかこういう力は獲得できません。親の手助けが必要です。子どもが泣きわめいている時に怒ってもなんの対処方法にもなりません。まず本人の気持ちを受け止める事、そして「だめならだめ！」と大人が毅然とした態度で接しましょう。  
「ほしかった」「やりたかった」「いやだった」などそんなメッセージに『そうだったの、わかったよ』と言ってあげましょう。子どもは自分の気持ちをわかってもらえた、それだけで自分の気持ちを立て直したり、自分の気持ちをどう扱っていけばいいのかを学んでいくのです。  
大人もこういう感情のコントロールが上手でない人はいます。それは欲求や感情を抑えつけるという「我慢」の方法をしてきたからかもしれません。

